

(国19)

(健 I 134)

令和元年9月4日

都道府県医師会
担当理事 殿

日本医師会
常任理事 道永 麻里
常任理事 松本 吉郎

第7回人間を中心とした医療国際会議の開催について

平素は本会の会務に種々ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本会では標記会議を別添プログラムのとおり開催することといたしました。

つきましては、本会議の開催について貴会会員に周知していただきますとともに、会議の受講申し込み等について下記の通りお取り計らいいただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

- 開催日 : 令和元年11月2日(土) 9時～17時45分
- 会場 : 日本医師会館大講堂
- 受講資格 : 医師はじめ一般参加者も受講可(定員400名)
- 参加費 : 無料
- 研修単位 : ①認定産業医生涯研修単位(専門研修)6単位(全4セッション受講)

※本会議は認定産業医制度における認定更新に必要な単位修得のための生涯研修会として

位置付けられており、認定産業医取得のための基礎研修の単位としては認められません。

- ②生涯教育単位CC(予防と保健)6単位(全4セッション受講)

■申し込み方法および手続き

- ① 受講希望者は、日本医師会認定産業医ホームページからログインの上、Web申込にて行います。詳しくは添付資料ならびに下記URLをご参照ください。
※日本医師会認定産業医ホームページ (<http://www.med.or.jp/doctor/ssi/>)
- ② 申込受付は9月5日(木)9時30分から開始します。先着順(座席指定なし)とし、定員になり次第締め切ります。

以上

第7回人間を中心とした医療国際会議 ーワーク・ライフ・バランス: 課題とその解決手段ー

共催：日本医師会、人間を中心とした医療国際組織

2019年11月2日

日本医師会館大講堂



プログラム案

進行：松本吉郎、日本医師会常任理事

9:00 - 9:10 開会セッション

歓迎挨拶：横倉義武 日本医師会会長

ジョン・スネーデル 人間を中心とした医療国際組織（ICPCM）会長

9:10 - 10:40 セッション1：人間中心の医療の概念、ワーク・ライフ・バランス及び燃え尽き症候群

共同座長: ジョン・スネーデル

山口直人

済生会保健・医療・福祉総合研究所研究部門長

1. 人間中心の医療と Well-being

ジュアン・メジッチ / ニューヨーク、リマ

ICPCM事務局長、世界精神医学会元会長

マウントサイナイ・アイカーン医科大学精神学教授

国立サンマルコス大学人間を中心とした医療イポリト・イナヌネ教授

2. 仕事、健康と Well-being

ワーディ・ファン・スターデン / プレトリア、南アフリカ

ICPCM理事、プレトリア大学精神学、哲学ネルソン・マンデラ教授

3. ワーク・ライフ・バランスの日本の概念（仮題）

堤 明純
北里大学医学部公衆衛生学教授

4. 燃え尽き症候群と関連する健康状態

イフサン・サロウム／マイアミ、米国
ICPCM理事、マイアミ大学、精神学・行動科学教授

5. 議場との討論とまとめ

10:40 - 11:10 休憩及びポスター・セッション 1

11:10 - 12:40 セッション 2：医療専門職における労働時間と働き方改革の国際比較I

共同座長：道永麻里 日本医師会常任理事
ジュアン・メジッチ、ICPCM

1. 世界医師会の見解

ミゲル・ジョルジュ／サンパウロ、ブラジル
世界医師会長（2019年）、ブラジル医師会理事

2. ドイツの見解

ラミン・パルサ・パルシ／ベルリン、ドイツ
世界医師会理事、ドイツ医師会国際担当役員

3. 北欧医師会の見解

ジョン・スネーデル／レイキャビク、アイスランド
ICPCM会長、元世界医師会長（2007年）
国立レイキャビク大学老年医学教授

4. 日本の見解（仮題）

中嶋義文
三井記念病院精神科部長

5. 議場との討論とまとめ

12:40 - 13:40 休憩

13:40 - 15:10 セッション3: 医療専門職の訓練及びワーク・ライフ・バランスと燃え尽き症候群の予防の推進

共同座長：ヘレン・ミラー
渋谷明隆
北里研究所 北里大学常任理事 医学部医療管理学教授

1. Well-beingと燃え尽き症候群の訓練における国際展望

ジム・アップルヤード、ロンドン
ICPCM理事会顧問、ICPCM元会長（2013 - 2017）
国際医科大学協会副会長、世界医師会元会長

2. 精神的強化とWell-beingのための自己移入と対話の訓練

ミッシェル・ボトゥボー／ブレスト、フランス
ICPCM理事、世界精神学会出版担当役員
西ブリタニー大学小児精神科教授

3. 仕事と家庭におけるWell-being の訓練

ウルリッヒ・ヴァイゲルト
ドイツ家庭医協会会長

4. 医学生及び医師に対する燃え尽き症候群予防のための介入

和田耕治
国際医療福祉大学医学部公衆衛生学教授

5. 議場との討論とまとめ

15:10 - 15:40 休憩及びポスター・セッション2

15:40 -17:10 セッション4：Well-being、医療制度、管理と職業上の安全に関する国際展望

共同座長：ジム・アップルヤード
木戸道子
日本赤十字社医療センター第一産婦人科部長

1. Well-beingと燃え尽き症候群における医療制度上の課題

ステファン・ホーフマイスター
ドイツ連邦保険医協会副会長

2. 医療制度の枠組みとWell-being、イギリスのNHSにおける事例

ヘレン・ミラー／スコットランド、英国
ICPCM理事、世界精神衛生連盟元財務担当役員
ダンディー大学精神科コンサルタント

3. ペルーの病院における人間中心の医療の評価

ジュアン・メジッチ
ICPCM事務局長、世界精神医学会元会長
マウントサイナイ・アイカーン医科大学精神学教授
国立サンマルコス大学人間を中心とした医療イポリト・イナヌネ教授

4. 日本の事例（仮題）

中安 杏奈
日本赤十字社医療センター第一産婦人科医師

5. 議場との討論とまとめ

17:10 - 17:45 閉会セッション

共同座長：ジョン・スネーデル
相澤好治
北里大学名誉教授

- 総括：ジム・アップルヤード
- 「ワーク・ライフ・バランスに関する東京宣言」2019の採択及び公表
ワーディ・ファン・スターデン
- 次へのステップ

ジュアン・メジッチ